



宮崎県 株式会社くしまアオイファーム

『さつまいもをアジア、欧州へ』

【主な品目】

さつまいも

【主な輸出先国・地域】

香港、台湾、シンガポール、タイ、イギリス、ドイツ

【輸出取組の概要】

- ◆ 通年輸出のため、さつまいもをキュアリング（※）する機能を持った貯蔵庫を保有。
- ◆ 海外現地へ足を運び、実際に見て感じて、各国各地域のニーズを把握。
- ◆ 輸出産地の形成に取組み、フラッグシップ輸出産地認定を取得。

【輸出実績】（平成24年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和5年度	31,155.9	1,182	通年
令和4年度	25,849.3	984	
令和3年度	21,923.5	749	

※キュアリングとは、収穫時に傷ついたさつまいもを貯蔵前に一定期間高温多湿条件下において傷口にコルク層をつくること。このことにより病原菌などの侵入を防ぐことができる。

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 輸送中に袋内が結露することで発生するカビや腐敗によるロス。
港湾混雑による港での長期待機や抜港(船が入港を予定していた港を飛ばしてしまうこと)により輸送期間が安定しておらず、輸送中の腐敗リスクが高い。
- 2 文化の違いによる、売れ筋の変化。(家庭のおやつ用の小サイズでホクホクした品種から焼き芋用の中サイズのしっとり系へ)

【効果があった取組】

腐敗防止対策のキュアリング(※)と鮮度保持袋の導入。

【生じた課題への対応】

- 1 包装資材メーカーと結露を防止する専用の袋を開発。
- 2 現地スーパーでの催事に参加し、アンケートを実施。その結果によるさつまいものサイズ、品種の変更、パッケージの改良。

【対応の結果】

- 1 輸送中の腐敗低減による良質なさつまいもの輸出を実現。
- 2 消費者のニーズを把握することで、おやついも（焼き芋用）のブランドイメージ向上と売り上げアップ。

【今後の課題・展望】

- 1 新規販路拡大のため欧米、北米への出荷。
- 2 串間市を「世界一のさつまいもブランド産地」にする。

【活用した支援・施策】 令和元～3年度GFPグローバル産地づくり推進事業、平成30年度総合化事業計画
令和2年度輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造設備の緊急支援事業

【ウェブサイト】<https://aoifarm-gr.com/>

【連絡先】担当者名：堀内、TEL：0987-71-2117



海外での商談会



展示会販売